

原発風評被害を克服するための都市・農村の協働による「地域共生社会」の構築



早稲田環境学研究所
たかはた共生塾

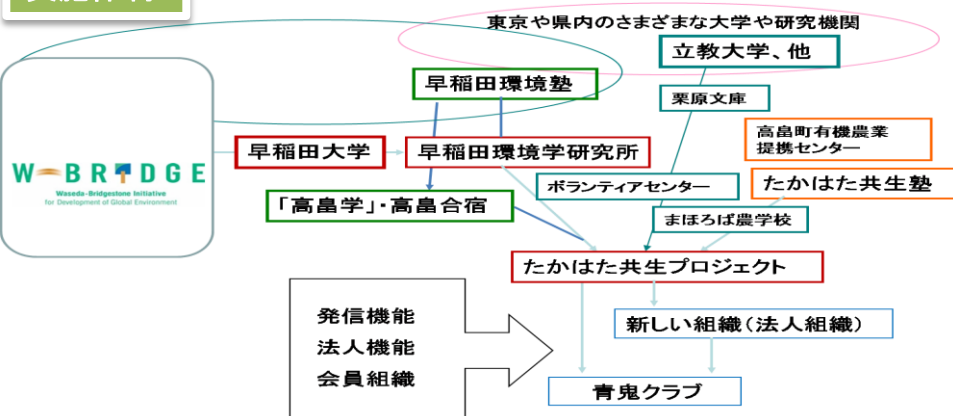
背景

- ◇東洋アルカディアと評された山形県置賜郡、その東南に位置する山形県高島町。
- ◇東電福島原発から直線距離で80キロ、汚染ホットスポット福島市と奥羽山脈をはさんで隣接する稲作、果樹生産地、畜産の複合経営農村、高島町和田地区。
- ◇非汚染地域でありながら、風評被害により40年の実績を有し全国一の水準にあった当地域と東京・大阪の消費者との生消提携が瓦解した。

目的

- ◇当地との10年間の交流を生かし、2012年農産物と人、情報の同時交流、発信及び予想される首都圏への大震災の再来を視野にいれ、新たな生消提携組織「青鬼クラブ」をたかはた共生塾との協働で2012年12月に発足させた。
- ◇「青鬼クラブ」の理念とその実践により都市・農村の協働による「地域共生社会」の原型例の構築を目指す。

実施体制



活動風景



高島シンポジウム(2013年12月7日~8日)
山形県高島町、浜田広介記念館大ホール



青鬼サロンテスト(2014年2月28日)
毎日新聞東京本社1階「MOTTAINAI STATION」



第1回青鬼サロン(2014年4月17日)

活動内容

早稲田環境塾 研究会

高島:たかはた共生塾
現地プログラムと協働

- ☆第1部「環境問題から社会の変革を」
- ☆第2部「今、安全・安心な食とは何か」
- ☆第3部「生物多様性と環境思想」高島シンポジウム
- ☆第4部「3.11 宮沢賢治・柳田國男の世界」花巻・遠野合宿

青鬼クラブ 青鬼サロン

- ☆米を通貨とした新たな提携活動として、2013年1月「青鬼クラブ」開始
- ☆2014年4月現在、会員40名(そのうち毎月30名、150キロベース)
- ☆2014年4月 新たな言論空間の場として「青鬼サロン」が毎月第3木曜日、毎日新聞メディアカフェにて開始

情報発信

読者とともに作る新聞

毎日メディアカフェ

多彩なイベントをクロスメディア展開



毎日新聞社内ウェブサイトにて情報発信
<http://mainichimediacafe.jp/>



Facebookページにて情報共有
<https://www.facebook.com/aoonisalon>



青鬼クラブ

一粒の米に人具る



第2回青鬼サロン(5月22日)